

平成22年 第7回定例県教育委員会会議
教 育 長 報 告

I 報告事項

平成22年度 全国学力・学習状況調査について

II 事項の説明

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 教育施策の成果と改善を図る取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 学校における児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査実施日 平成22年4月20日(火)

3 調査の対象学年

- 小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年の児童
- 中学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年の生徒

抽 出 校	学校数	児童生徒数	希望利用校	学校数	児童生徒数
公立小学校	112	7159	公立小学校	140	7937
公立中学校	78	8577	公立中学校	67	6868
計	190	15736	計	207	14805

※小学校抽出対象校268校中112校(41.8%)、希望利用校268校中140校(52.2%)計94.0%

※中学校抽出対象校156校中78校(50.0%)、希望利用校156校中67校(42.9%)計92.9%

4 調査の内容

- (1) 教科に関する調査(出題の内容例)
- (2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
○身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ○実生活において不可欠であり、常に活用できるようにになっていることが望ましい知識・技能など	○知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力 ○様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力
国語 漢字の読み書き、言葉の意味、目的や場面に応じた言葉の使い方、情報を整理してまとめること、A 文章の内容などに関する情報の取り出しなど	国語 伝えるべき内容を整理して、文章に表現すること、筆者の主張を評価したり、表現を工夫しながら自分の考えを書いたりすること、文章やグラフ・図形等を読んで、意見をまとめることなど
算数 数 十、一、×、÷、() の演算順序を意識して正しく計算すること、図形の性質を理解し、角度や面積などを求めること、グラフから変化の様子を読み取ること、確率の意味を理解し、求めることなど A	算数 数 図やグラフから必要な情報を分類、整理、比較するなどして、問題の解決に役立てること、問題の中から規則性を見つけて、考え、表現すること、実生活などの様々な場面における数量やデータを比較、整理し、自分の考えを分かりやすく説明することなど B

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	・指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

5 調査結果の公表

- (1) 公表の時期 7月下旬(予定)
- (2) 公表等の内容(文科省)
 - ・国全体の状況及び国・公・私立学校別の状況
 - ・都道府県ごとの公立学校全体の状況
- (3) 調査結果の活用
 - ・多面的な分析を行い、自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、適切な連携を図りながら、教育及び教育施策の改善に取り組むこと
- (4) 調査結果の取扱いに関する配慮事項
 - ・本調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、序列化や過度の競争につなげないこと

6 サンプル調査(県：本年度実施)

- ・早い時期に状況を把握することで、日常的な取組に反映させるために、サンプル調査を実施する。(全クラス、2~4人)小中各：1800~2100人
- ※学力に関すること、学習状況に関すること、学校質問紙